

令和6年度事業計画

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

物流の2024年問題の解決に向け、政府は我が国の物流を革新するために様々な活動を本格化させ、その指針となる「2030年度に向けた政府の中長期計画」が以下の5つをポイントとして公表されました。

- (1) 物流生産性向上のための法改正等
- (2) デジタル技術を活用した物流効率化
- (3) 多様な輸送モードの活用推進
- (4) 高速道路の利便性向上
- (5) 荷主・消費者の行動変容

これらのどのポイントにも、パレット利活用拡大やパレット標準化推進という形で直接間接にパレットが関係しており、パレット（サービス）が果たす役割や担う責務が今後ますます重要になると言っても過言ではありません。

本年度は、会員各社がこのような状況において、最適なパレット（サービス）を産業界に広く安定して供給できるように、「協会のあるべき姿」を会員企業、関係団体、関係官庁との連携により、常に見据えながら着実に歩みを進めます。

上記を踏まえ、以下の通り協会事業を計画しました。

<共通テーマ>

持続可能な物流を実現するため、国内外の関係先と連携して、パレットの有効利活用と社会的認知向上を推進する。

<事業計画>

1. 国内活動

- 1) 「持続可能な物流を推進するための効率化」に寄与するパレット利活用推進
 - ・「パレット標準化推進分科会」で決議されたKPI達成を支援する
 - ・パレットの循環利活用促進を支援（会議体：ENOGU等による先導）する
- 2) パレットに関する広報活動の充実
 - ・記者会見の定期開催と積極的なニュースリリースを継続する
 - ・イベント開催等によって、社会全体のパレットに対する認識を向上させる
 - ・パレット利活用における各ステークホルダーの行動変容を促す
 - ・ホームページ上でSNS媒体を活用した広報の多様化を図る
 - ・パレットガイドブック2024の発行（2017年以来の改訂版）

- 3) 会員との直接対話の機会を増やす諸活動
 - ・各種会議の活性化（対面開催、ウェブ開催の使い分け等）
 - ・会員アンケートの実施と直接訪問
 - ・災害時のパレット及び関連物流機器・容器の速やかな提供を支援するための自治体等との連携強化（会員との迅速な情報共有を推進）
- 4) JPA マーク認定制度の活性化検討
 - ・物流の 2024 年問題が顕在化する中で、積極的にパレットを利活用する事業者に対してパレットの品質や安心安全の訴求に資する体制を整える（制度再構築）と共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 5) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）の勧誘活動の強化

<事業計画>

2. 国際活動

- 1) アジア地域におけるパレットの普及推進
 - ・アジアパレットシステム連盟（以下、APSF）ロードマップ 2030 の実践と加盟各国のサポート
 - ・パレットの規格・品質を担保する認定制度を APSF 加盟各国に提案する
 - ・関係省庁等との連携により国際的な RTI 化を推進する（会議への参画 実証輸送の実施サポート等）。
- 2) APSF 総会（韓国開催）へ出席
- 3) 国際パレット会議（中国開催）へ出席
- 4) ISO TC51 の会議：WG6 と WG9（韓国開催）へ出席
- 5) その他、当会の活動に関連する国際活動の遂行

以上